



海員上

神戶高等商船學校 鈴木邦興

嘉永六年六月三日... 海運は海運に堪へ得なかつた... 海運の米艦が徳川三百年泰は感せられ海運の健全な... 海運の米艦が徳川三百年泰は感せられ海運の健全な... 海運の米艦が徳川三百年泰は感せられ海運の健全な...

潮聲

初瀬やまづ一雁を霧の中... 初瀬の獲物は更になかりけり... 初瀬の獲物は更になかりけり... 初瀬の獲物は更になかりけり...

好問八景

大館秋月... 初更月吐古城丘... 吟望悠然與自幽... 斗雲清秋意冷... 清商一笛灑江流... 小館夕照... 古館無蹤開院院... 荒墟却見費難營... 天風過隙陰雲散... 一色丘陵夕照明... 愛谷春曉

拈華微笑

助かつた... 十萬圓が... 貴州川、麻と手向くるも... 深いのだ... 昔相承きまが花がお好でよ、鞍馬の山の雲珠さくら... あつたといふ所から、春祭また二月の花よりも、また... 花を盛に手一しほの落葉の錦、林間に... 向ける。日が暮れると華表酒あためて唐歌を、うた... 前で大響火が燃えあがる。真の遊びし、うらやまの心の... 紅な炎が斜に石の柱へ吹き風情面白や... つけて四邊が暗色にほろ... こゝな風俗は今も残つた... と明くなると、ドドドド... 惜しいことである... 踊り疲れた落伍者の出る... 破の面白さうな音色が大半やうになつて夜は大分更け... 樂の體にうつつたてつて村である。例ならば若い同士... 人の耳をそり立てる、その血をわかつた此の一宵花... れといつて駆出た見ると、舞の舞をわかつた此の一宵花... うらに舞の周囲へ真を濡らすであらうが講中の... 院といふ古刹に泊ること... 王の御所で、伏見城の松の... 丸を引移した由緒ある伽藍... が、盆にや踊るし、正月にや... 聖日が白川天満宮の夏祭... である宮は白川の南に鎮座し、長夏に草取る

お蘭のお蝶

お蘭のお蝶... 渡邊歌作... 布師長春書... 龍馬はその手段として... 龍馬はその手段として... 龍馬はその手段として... 龍馬はその手段として...



歌目今日はお金がない... のよいつかまた、さみ... しく云つて母は子を抱... 物云はす屏へ貸聞の札... を貼る、人の背にさす... 冬のうすい陽

山道で

山道は遠かつたよ... 迷つたと知つた時には... もう山は深くなつてた... 引き返す道はさびしく... 茅の葉がかさかさ鳴れば... うしろから何か来るよだ... やつと出たものと道でよ... 道かへて行くこの道も... 違つてるやうな気がする

江口新

山道は遠かつたよ... 迷つたと知つた時には... もう山は深くなつてた... 引き返す道はさびしく... 茅の葉がかさかさ鳴れば... うしろから何か来るよだ... やつと出たものと道でよ... 道かへて行くこの道も... 違つてるやうな気がする

貴州川、麻と手向くるも... 深いのだ... 昔相承きまが花がお好でよ、鞍馬の山の雲珠さくら... あつたといふ所から、春祭また二月の花よりも、また... 花を盛に手一しほの落葉の錦、林間に... 向ける。日が暮れると華表酒あためて唐歌を、うた... 前で大響火が燃えあがる。真の遊びし、うらやまの心の... 紅な炎が斜に石の柱へ吹き風情面白や... つけて四邊が暗色にほろ... こゝな風俗は今も残つた... と明くなると、ドドドド... 惜しいことである... 踊り疲れた落伍者の出る... 破の面白さうな音色が大半やうになつて夜は大分更け... 樂の體にうつつたてつて村である。例ならば若い同士... 人の耳をそり立てる、その血をわかつた此の一宵花... れといつて駆出た見ると、舞の舞をわかつた此の一宵花... うらに舞の周囲へ真を濡らすであらうが講中の... 院といふ古刹に泊ること... 王の御所で、伏見城の松の... 丸を引移した由緒ある伽藍... が、盆にや踊るし、正月にや... 聖日が白川天満宮の夏祭... である宮は白川の南に鎮座し、長夏に草取る

最新式設備... 寫眞館サクラ... 平町田町 電話五三五番

大塚の特賣... 男女耐久學生靴... 五圓より... 七五三に是非... 大人になつてから小供時代の姿を見... たいのは人情です... 再び来らぬ幼少時代の可愛い御寫眞... を揃へて保存してやるのは親さん方... の御情けご思ひます... 是非大塚の御歸りがけに御立寄... り下さいませ... 御祝ひの爲に當館も特に勉強致しま... す

cafe... 喫茶と食事... 豊富陳列... 特價品... 七五三祝... 大野寫眞館... 平町田町 電話五三五番

大塚の特賣... 男女耐久學生靴... 五圓より... 七五三に是非... 大人になつてから小供時代の姿を見... たいのは人情です... 再び来らぬ幼少時代の可愛い御寫眞... を揃へて保存してやるのは親さん方... の御情けご思ひます... 是非大塚の御歸りがけに御立寄... り下さいませ... 御祝ひの爲に當館も特に勉強致しま... す

御料理 八千代... 平町田町 電話三七五番

三五七祝... 大野寫眞館... 特別記念... 特に勉強致します!!... 平町田町

中野洋品店... 純毛シヤツ、セーター類... 純毛毛布特別廉價提供!!... 平二・電五三

平館割引券... 二十錢券... 一枚十五錢... 平町土橋 電話四八九

